

オーストラリア 高温により和ナシはより甘く、シーズンは短くなる

[FreshPlaza 2025年2月28日](#)

南オーストラリア州の和ナシの収穫は2月初旬に始まった。今シーズンは気温が高い天候のため、昨年よりも始まりが少し早い。南オーストラリア州青果物市場の販売・ビジネス開発及び広報担当マネージャーであるペニー・レイディ氏は、「暑さはナシの成熟を早める。ここ南オーストラリア州では極端な暑さに見舞われたため、ナシの成熟が少し早くなった」と述べている。(以下「」は同氏の話)

「また、春から夏を通して雨が少なく、その後、極端に暑い日が続いた。遮光ネットでさえ40度以上の気温がナシに伝わるのを防ぐことはできず、一部の果実は影響を受けた。雨不足は果実のサイズにも影響を与え、収穫されているナシは小玉が多い。」

同氏は、厳しい天候条件にもかかわらず、果実は味が良いと言う。「水やりが制限されると、果実の糖度が高くなる。和ナシはオーストラリア中で栽培されているが、南オーストラリア州産が最高の品質であると思う。」

和ナシにはいくつかの種類があるが、南オーストラリア州では、二十世紀が最も広く栽培されている。

「通常、ナシの収穫は10月まで続くが、生産者達は、2025年は天候条件のため出荷シーズンが1〜2カ月短縮されると予測している。」

和ナシはオーストラリアで人気を得ている。果汁が多いのが特徴で、過熟になる前の果実が固いうちに楽しむのが最適である。

執筆者: ニコラ・マクレガー

世界のマンダリン市場(要約のみ抜粋)

[FreshPlaza 2025年2月28日](#)

世界のマンダリン市場はダイナミックなシーズンを迎えており、様々な国が独自の課題とチャンスに向き合っている。

スペインでは、マンダリンの需要が高いが、輸入品との競争が激化している。オランダでは、モロッコ産ナドルコット品種を中心に、堅調なシーズンが続いている。ベルギーでは秋の雨のためにナドルコットのシーズンが早期に終了し、一方、イタリアは厳しいクレメンタインのシーズンに直面しているが、晩生のマンダリンについては楽観的である。

ドイツでは、スペイン産の柑橘類が依然として優勢だが、価格は下落している。フランスは生産量の減少にもかかわらず、マンダリン市場は安定していると報告されている。ギリシャは、安定した価格と高い品質で良いシーズンを享受している。

北米では、カリフォルニア州の有機マンダリンの供給は、モロッコ、ペルー、チリ、南アフリカからの輸入に支えられ、堅調に推移している。

エジプトとモロッコは、世界のマンダリン貿易における競争の激化に取り組んでいる。南アフリカはマンダリンシーズンの遅れに直面しており、輸入が不足を埋めている。

中国は競争と食品安全上の懸念による耙耙柑(晴見)の販売減少に苦戦している。

ペルーは、マンダリンの好調な出荷に牽引されて柑橘類の輸出記録を更新し、アルゼンチンは供給の増加と競争の激化に直面している。チリは主要な輸出市場で引き続きリードしており、マンダリンは依然としてその貿易の重要な部分を占めている。最後に、ウルグアイは種なし品種に焦点を当てて輸出を拡大しており、世界の柑橘類分野での地位を強化している。